

# 1月30日(木) 学校生活

【挑戦ではなく、実験でもいいのかな。】

失敗すると大きな挫折感を味わいますね。だったら小さな行動実験をしていきましょう。毎日少しの時間やっていたことをやってみる。またこれまでとは違う方法でやってみる。それでもうまくいかなければやめて、次へ進めばいい。少しずつやってみることに、価値があります。失敗から得るものはとても大きく、これからの自分の大きな成長につながります。

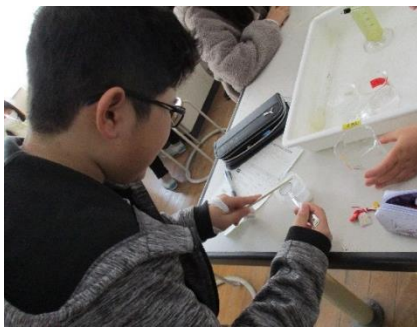
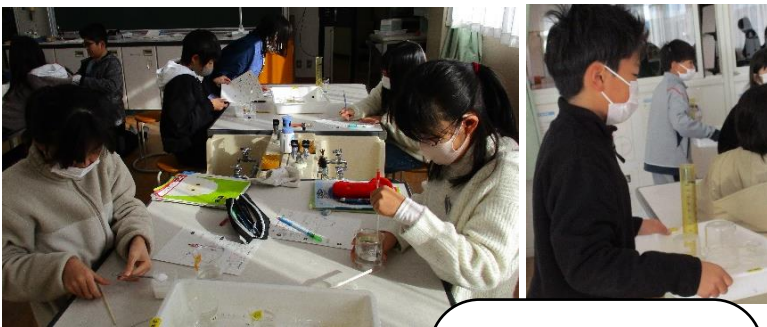
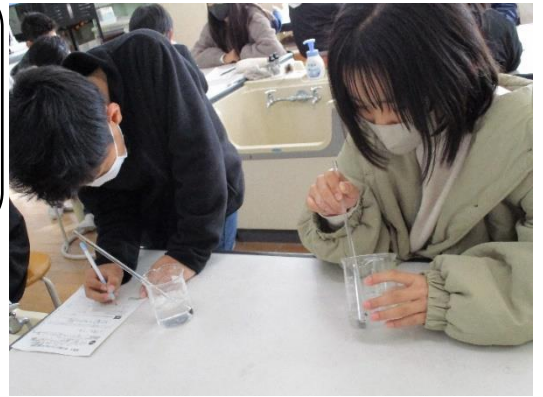


すりきりー杯とは？



水の量を増やし、水の温度は、同じにすると水に溶けるものの量はどうか予想し、実験をしています。実験をする前には、使う道具の名前、使い方、実験の仕方、プリントへ予想や結果の書き方を丁寧に質問しながらみんなで確認しています。

さすが!5年生!!学習にとっても前向き、意欲的です。



静かにかき混ぜ、水溶液をじっくり見る子どもたちに、先生が「みんな研究者みたいだね」と言われ、より真剣になる子どもたち。



実験 水の量を増やすと水に溶解するものの量はどうか?

予想 変わらない、変わる(減る、増える) 2倍になる、半分になる

計画 水の量を増やす 変える条件 同じ条件 水の量 (50ml → 100ml) 水の温度

結果 食塩 ミョウバン

食塩	0	0	10	0	0	10
ミョウバン	0	0	0	0	0	10

① 水の量を増やす ⇒ 溶解するものの量も増える。  
② 水の量が2倍 ⇒ 溶解するものの量も2倍になる。